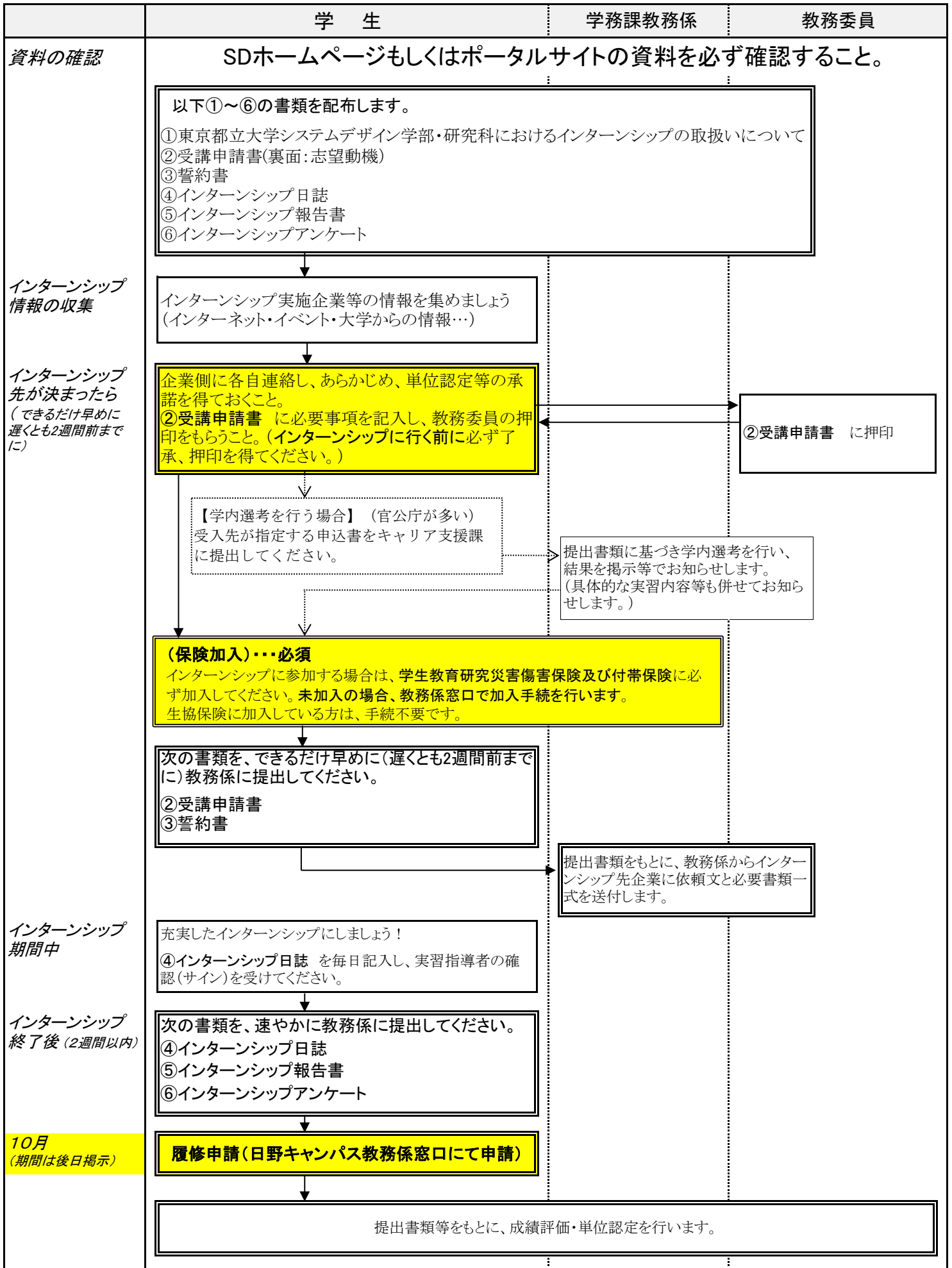


# 【学部】インターンシップの流れ



## 東京都立大学システムデザイン学部及びシステムデザイン研究科における インターンシップの取扱いについて

インターンシップの実施に関し、東京都立大学システムデザイン学部及び大学院システムデザイン研究科では、以下のとおり取扱っております。

1. 本学では、所属する学生の職業意識の向上及び企業に対する理解を深めることを目的として、インターンシップを実施しています。
2. 本学では、インターンシップを履修科目の一つとして位置付け、教育活動の一環として、実習内容に応じ単位認定を行っています。インターンシップ実習期間は 5 日間以上とし、また受入企業様には、実習生の参加について受入れ報告書をご提出いただきます。そのため、実習後には、受入企業様より下記の書類をお預かりいたします。
  - インターンシップ受入れ報告書
  - インターンシップ受入れに関するアンケート
  - インターンシップ日誌 (実習生が記入したものを確認いただき、ご署名または押印をお願いいたします。可能でしたら、コメントもご記入願います。)→この書類は実習生が持ち帰ります。
3. 実習生は、賃金、報酬、手当等いかなる名称の対価も、受け取ることはできません。なお交通費の実費、昼食代に関しては企業様、実習生との間での取り決めによるものとします。
4. 実習生に対しては、以下のとおり指導し、誓約書の提出を義務付けております。
  - 担当者様の指示に従い実習に専念すること。
  - 受入企業様の信用を傷つけ、または不名誉となる行為をしてはならない。
  - 実習上知り得た秘密を漏らしてはならない。実習を終えた後もまた同様とする。
5. 実習生は、実習期間中の事故に備えて、事前に傷害保険及び賠償責任保険に加入し、実習中の事故に関しては、自らの責任において対応することを義務付けております。
6. 実習生が、故意又は過失により第4項に反する行為を行ったときは、本学及び実習生は、実習先及び被害を受けた第三者に対して連帯して責任を負います。

以上について、お問い合わせがございます場合は、下記担当までご連絡ください。

【担当】 東京都公立大学法人  
東京都立大学 日野キャンパス管理部  
学務課教務係 高野、瀧上  
〒191-0065 東京都日野市旭が丘 6 - 6  
Tel : 042-585-8612 Fax : 042-583-5119  
Mail : takigami-jun@jmj.tmu.ac.jp

# インターンシップ受講申請書

教務委員	指導教授

所 属	システムデザイン (学部・研究科)	(学科・学域)	年
氏 名	学修番号 ( )		
現 住 所	〒	携帯 ( )	
保 証 人	氏名 :	続柄 :	Tel ( )
インターンシップ保険への加入(必須)	保険名称 :		
インターンシップ取扱いについて	下記については、全て先方企業の確認をとっている。 <input type="checkbox"/> 無報酬 <input type="checkbox"/> 単位認定 <input type="checkbox"/> インターンシップ受入れ報告書の記入		



「インターンシップの取扱い」に基づき  
事前に企業に各自、確認しておくこと。

## 【受入企業情報】

企業等名			
担当部署			
担当者名(必須)	氏名		
担当者連絡先(必須)	e-mail(必須)	/Tel	
本社所在地	〒		
実習先所在地	(上記と異なる場合)		
実習期間	_____年 月 日 ~ _____年 月 日 (実働 日間) 就労時間 _____ : _____ ~ _____ : _____		
実習内容	① ② ③ ④ ⑤		
待 遇	・ 作業服の貸与 ・ 作業靴の貸与 ・ 厚生施設 ・ 昼食等の支給 ・ 交通費の支給	有 有 有 有 有	無 無 無 無 ( ) 無 ( )

### 大学側評価

評価項目	評価	所見
受入れ報告書		
日 誌		
レポ ー ト (報告書)		
総合評価		

志 望 動 機

◇志望動機(意気込み、この企業を選んだ理由、実習により得たいものなど)



# インターンシップ日誌

実習年月日・曜日	年 月 日 曜日	☆毎日記入すること。
システムデザイン学部・研究科	学科・学域	氏名
実習を行った企業名・事業所名・部門名等		
実習指導者 役職・氏名		

① 実習概要（課題・テーマ、研修した業務、手順、内容など）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

② 学んだこと・反省点・意見等

.....

.....

.....

.....

.....

③ インターンシップ責任者からのアドバイスを受けたこと。

.....

.....

.....

.....

.....

\* 実習指導者記入欄<コメント等があればご記入ください。>

指導者確認印又はサイン(必須)




A series of horizontal dotted lines for writing.



## インターンシップアンケート

所属・年次： \_\_\_\_\_ 学科・学域 \_\_\_\_\_ 年次 \_\_\_\_\_  
氏名： \_\_\_\_\_ 学修番号 \_\_\_\_\_

### I インターンシップ全体について

1. 受講してよかったですか

はい ・ いいえ ・ どちらともいえない

2. 後輩に勧めたいですか

はい ・ いいえ ・ どちらともいえない

3. この科目を受講して、どのような点（精神面、技術面、知識面）で成長したと思いますか。具体的に記載してください。

### II 受入先企業等について

1. 参加してよかったですか

はい ・ いいえ ・ どちらともいえない

2. 受入企業等の雰囲気はよかったですか

はい ・ いいえ ・ どちらともいえない

3. 指導は適切でしたか

はい ・ いいえ ・ どちらともいえない

4. 職種はありましたか

はい ・ いいえ ・ どちらともいえない

5. 仕事量は適切でしたか

はい ・ いいえ ・ どちらともいえない

6. 仕事の程度は適切でしたか

はい ・ いいえ ・ どちらともいえない

7. 通勤時間は適切でしたか

はい ・ いいえ ・ どちらともいえない

8. 実習の日数は何日がよいと思いますか

日

9. その他、感想があれば記載してください。

受入企業名

御中

2都立大日学第 号  
年 月 日

東京都立大学  
システムデザイン学部長  
諸 貫 信 行

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より本学の運営にご協力いただき厚く御礼申し上げます。また、この度は本学学生を貴社インターンシップに受け入れていただき、誠にありがとうございます。

本学では、インターンシップを履修科目の一つとして位置付け、実習内容等を貴社にご確認いただきました上でそれを基に本学教員が単位認定を行っております。

つきましては、下記のとおり当該学生に関する書類をお送りしますので、ご査収の上、「インターンシップ受入れ承諾書」をご返送くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

1 学生氏名 ○○ ○○ システムデザイン学部 学科 年

## 2 送付書類

- ① 東京都立大学システムデザイン学部及び研究科におけるインターンシップの取扱いについて
- ② 誓約書
- ③ インターンシップ受入れ承諾書
- ④ インターンシップ受入れ報告書（実習生1人につき1枚）
- ⑤ インターンシップ受入れに関するアンケート
- ⑥ システムデザイン学部の「インターンシップ」シラバス

## 3 確認事項

- ・①「インターンシップの取扱いについて」をご確認の上、③「インターンシップ受入れ承諾書」にご署名・押印の上ご返送ください。
- ・④「インターンシップ受入れ報告書」、⑤「アンケート」につきましては、インターンシップ終了後にご記入いただき、実習終了後、2週間以内にご返送ください。（封入の上、実習最終日に学生に預けていただいても構いません。）
- ・実習期間中、実習学生は「インターンシップ日誌」（用紙は学生が持参します）を、原則毎日作成し、指導者に確認サインを受けることとなっています。ご協力をお願いいたします。

事務担当 〒191-0065 東京都日野市旭が丘6-6  
東京都立大学法人  
東京都立大学 日野キャンパス管理部  
学務課教務係 高野、瀧上  
Tel 042-585-8612 Fax 042-583-5119  
E-mail takigami-jun@jmj.tmu.ac.jp

年 月 日

東京都立大学  
システムデザイン学部長 殿  
東京都立大学大学院  
システムデザイン研究科長 殿

(企業名・役職名)

印

## インターンシップ受入れ承諾書

インターンシップの実施について、「東京都立大学システムデザイン学部・研究科におけるインターンシップの取扱いについて」を確認し、下記学生の受入れについて承諾いたします。

記

受入学生氏名：○ ○ ○ ○

受入期間： 年 月 日～ 年 月 日

(※上記学生氏名と受入期間は、あらかじめ記載して送付する。)

<問い合わせ先>

部署名： \_\_\_\_\_

担当者名： \_\_\_\_\_

住所・連絡先： \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

### 【書類送付先】

〒191-0065 東京都日野市旭が丘6-6 TEL:042-585-8612

東京都立大学法人 東京都立大学日野キャンパス管理部学務課教務係 担当:瀧上宛

## インターンシップ受入れ報告書

指導責任者	企 業 名	
	職 名	
	氏 名	⑩

インターンシップ 学 生 氏 名 等	システムデザイン学部・研究科 学科・学域 年	氏 名	
インターンシップ 期 間	年 月 日 ~ 年 月 日 (実働 日間)		
出 欠 状 況	出席 日・欠席 日・遅刻 日・早退 日		
実 施 場 所			
課 題 テ ー マ ( 実 施 内 容 等 )			
所 見 (学生の参加態度等で、 特に気がついたこと等が あればご記入ください。)			
そ の 他 ( 要 望 ・ 連 絡 事 項 )			

提出期限：インターンシップ終了後 2 週間以内

# インターンシップ受入れに関するアンケート

本学学生に対する企業等実習にご協力をいただきありがとうございます。

今後の参考とさせていただくため、本学に対するご要望及び本学学生に対するご要望、評価など、忌憚のないご意見をお願いいたします。

## 1 大学に対するご要望、ご意見など

## 2 学生に対するご要望、ご意見、ご感想など

年 月 日

御社名 \_\_\_\_\_

ご役職名 \_\_\_\_\_

お名前 \_\_\_\_\_

東京都立大学	インターンシップ(CS)	授業コード	L0151 L0152	単位数	1 2	特別申請科目 その他
担当教員	全教員(CS)	3年後期	冬季集中			
①授業方針・テーマ	大学の授業と並行して、産業界を中心とする企業や官公庁等で仕事を体験することにより、問題解決の能力を育てることを目的とする。					
②習得できる知識・能力や授業の目的・到達目標	インターンシップの実施先による。					
③授業計画・内容 授業方法	<p>(授業計画・内容)</p> <p>夏季休業(8-9月)あるいは冬季休業(12-1月)を利用して、5日以上連続してモノ作りの現場で作業に従事する。そして日々の体験を通じ、実社会における課題とその解決方法などについて考える力を養い、それらの学修の経過・成果を作業日誌および報告書(レポート)にまとめる。</p> <p>(授業方法)</p> <p>実習を中心とした授業を実施する。</p>					
④授業外学習	事前にインターンシップ先の情報を収集すること。 またレポートを通して実社会における課題とその解決方法への理解を深めること。					
⑤テキスト・参考書等	インターンシップ実施先の指示による。					
⑥成績評価方法	<p>インターンシップが終わった後、作業日誌および従事した内容(概要、仕事の特徴、問題点と解決案、感想)をまとめたレポートを提出する。このレポートに基づいて最終成績の評価を行う。成績は「合」または「否」の2段階で評価する。</p> <p>また単位数は、概ね以下の目安に従って認定する。</p> <p>認定単位数(目安):</p> <p>1単位:実習期間が5日以上9日以内の場合</p> <p>2単位:実習期間が10日以上の場合(ただし、5日以上2箇所までは、1+1単位として認定できる。)</p>					
⑦質問受付方法 (オフィスアワー等)	担当教員までメールにて問い合わせること。					
⑧特記事項 (他の授業科目との 関連性)	<p>インターンシップの単位取得には、以下の条件を全て満たす必要がある。</p> <p>(1) インターンシップに従事する2週間前までに各学科の教務委員の承認を得て、必要書類を教務係に提出すること。</p> <p>(2) 一定の条件を満たすインターンシップのみが単位認定の対象となる。特に、インターンシップ先から日当(ただし旅費及び昼食費相当額は除く)が支給される場合は認定できないので留意すること。</p>					

東京都立大学	インターンシップ(EECS)	授業コード	L0277 L0278	単位数	1 2	特別申請科目 その他
担当教員	全教員(EECS)	3年後期	冬季集中			
①授業方針・テーマ	大学の授業と並行して、産業界を中心とする企業で仕事を体験することにより、問題解決の能力を育てることを目的とする。					
②習得できる知識・能力や授業の目的・到達目標	インターンシップの実施先による。					
③授業計画・内容 授業方法	夏季休業(8~9月)あるいは冬季休業(12~1月)を利用して、5日以上連続してモノ作りの現場で作業に従事する。そして日々の体験を通じ、実社会における課題とその解決方法などについて考える力を養い、それらの学修の経過・成果を作業日誌および報告書(レポート)にまとめる。 (授業方法) 実習を中心とした授業を実施する。					
④授業外学習	事前にインターンシップ先の情報を収集すること。またレポートを通して実社会における課題とその解決方法への理解を深めること。					
⑤テキスト・参考書等	インターンシップ実施先の指示による。					
⑥成績評価方法	インターンシップが終わった後、作業日誌および従事した内容(概要、仕事の特徴、問題点と解決案、感想)をまとめたレポートを提出する。このレポートに基づいて最終成績の評価を行う。成績は「合」または「否」の2段階で評価する。 また単位数は、概ね以下の目安に従って認定する。 認定単位数(目安): 1単位:実習期間が5日以上9日以内の場合 2単位:実習期間が10日以上の場合(ただし、5日以上2箇所までは、1+1単位として認定できる。)					
⑦質問受付方法 (オフィスアワー等)	担当教員までメールにて問い合わせしてください。					
⑧特記事項 (他の授業科目との 関連性)	インターンシップの単位取得には、以下の条件を全て満たす必要がある。 (1) インターンシップに従事する2週間前までに各コースの教務委員の承認を得て、必要書類を教務係に提出すること。 (2) 一定の条件を満たすインターンシップのみが単位認定の対象となる。特に、インターンシップ先から日当(ただし旅費及び昼食費相当額は除く)が支給される場合は認定できないので留意すること。					

東京都立大学	インターンシップ(MSE)	授業コード	L0467 L0468	単位数	1 2	特別申請科目 その他
担当教員	全教員(MSE)	3年後期	冬季集中			
①授業方針・テーマ	大学の授業と並行して、産業界の企業などで仕事を体験することにより、問題解決の能力を育てることを目的とする。					
②習得できる知識・能力や授業の目的・到達目標	モノづくりの現場での考え方や実社会における問題解決方法の基礎を学修できるとともに、大学で学修した内容の実社会における活用方法を学ぶことができる。					
③授業計画・内容 授業方法	<p>季休業(8～9月)あるいは冬季休業(12～1月)を利用して、5日以上連続してモノ作りの現場で作業に従事する。そして日々の体験を通じ、実社会における課題とその解決方法などについて考える力を養い、それらの学修の経過・成果を作業日誌および報告書(レポート)にまとめる。</p> <p><b>【授業方法】</b> 本授業の履修を希望する学生は、本授業のガイダンスに出席すること。学部・大学院共通で、例年5月下旬ないし6月初旬に行われる。</p>					
④授業外学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップ先で課される課題</li> <li>・インターンシップ終了後に報告書(レポート)を作成</li> </ul>					
⑤テキスト・参考書等	必要に応じてインターンシップ先から参考書が提示される。					
⑥成績評価方法	<p>インターンシップが終わった後、作業日誌および従事した内容(概要、仕事の特徴、問題点と解決案、感想)をまとめたレポートを提出する。このレポートの評価、および受け入れ先担当者の評価を併せて、最終成績の評価を行う。また単位数は、概ね以下の目安に従って認定する。</p> <p>認定単位数(目安): 1単位:実習期間が5日以上9日以内の場合 2単位:実習期間が10日以上の場合(ただし、5日以上2箇所までは、1+1単位として認定できる。)</p>					
⑦質問受付方法 (オフィスアワー等)	<p><b>【本講義に関する問い合わせ先】</b> 機械システム工学科教務委員 (各テーマに関して)各テーマ担当教員(ガイダンスで紹介)</p>					
⑧特記事項 (他の授業科目との 関連性)	<p><b>【連絡事項】</b> 単位を認定する場合、インターンシップの内容に一定の条件が課せられる。特に、日当が支給される場合、単位は認定されないので注意すること。詳細については、インターンシップ履修希望者向けガイダンスを開催し説明する。</p> <p>インターンシップを履修するためには、原則として以下を満たす必要がある。</p> <p>(1) インターンシップ履修希望者向けガイダンスに出席すること。 (2) インターンシップに従事する2週間前までに各学科の教務委員の承認を得て、必要書類を教務係に提出すること。</p>					



東京都立大学	インターンシップ(AA)	授業コード	L0641 L0642	単位数	1 2	特別申請科目 その他
担当教員	全教員(AA)	3年後期	冬季集中			
①授業方針・テーマ	大学の授業と並行して、産業界を中心とする企業で仕事を体験する。					
②習得できる知識・能力や授業の目的・到達目標	会社、研究所などでの実践を通じて、問題解決のプロセスを理解し、体得する。					
③授業計画・内容 授業方法	<p>夏季休業(8～9月)あるいは冬季休業(12～1月)を利用して、5日以上連続してモノ作りの現場で作業に従事する。そして日々の体験を通じ、実社会における課題とその解決方法などについて考える力を養い、それらの学修の経過・成果を作業日誌および報告書(レポート)にまとめる。</p> <p>授業方法や授業外学習の詳細については、インターンシップ先及び教務委員の指導に従うこと。</p>					
④授業外学習	インターンシップ先の指示に従い取り組むこと。					
⑤テキスト・参考書等	インターンシップ先の指示に従うこと。					
⑥成績評価方法	<p>インターンシップが終わった後、作業日誌および従事した内容(概要、仕事の特徴、問題点と解決案、感想)をまとめたレポートを提出する。このレポートに基づいて最終成績の評価を行う。成績は「合」または「否」の2段階で評価する。</p> <p>また単位数は、概ね以下の目安に従って認定する。</p> <p>認定単位数(目安):</p> <p>1単位:実習期間が5日以上9日以内の場合</p> <p>2単位:実習期間が10日以上の場合(ただし、5日以上2箇所までは、1+1単位として認定できる。)</p>					
⑦質問受付方法 (オフィスアワー等)	質問事項がある場合には、航空宇宙システム工学科/コースの学部教務委員へメールで連絡すること。					
⑧特記事項 (他の授業科目との 関連性)	<p>インターンシップの単位取得には、以下の条件を全て満たす必要がある。</p> <p>(1) インターンシップに従事する2週間前までに各学科/コースの教務委員の承認を得て、必要書類を教務係に提出すること。</p> <p>(2) 一定の条件を満たすインターンシップのみが単位認定の対象となる。特に、インターンシップ先から日当(ただし旅費及び昼食費相当額は除く)が支給される場合は認定できないので留意すること。</p>					

東京都立大学	インターンシップ(IA)	授業コード	L0779 L0780	単位数	1 2	特別申請科目 その他
担当教員	全教員(IA)	3年後期	冬季集中			
①授業方針・テーマ	大学の授業と並行して、産業界を中心とする企業で仕事を体験することにより、問題解決の能力を育てることを目的とする。					
②習得できる知識・能力や授業の目的・到達目標	社会経験および実務からの、問題解決の能力を育てることを目的とする。					
③授業計画・内容 授業方法	夏季休業(8~9月)あるいは冬季休業(12~1月)を利用して、5日以上連続してモノ作りの現場で作業に従事する。そして日々の体験を通じ、実社会における課題とその解決方法などについて考える力を養い、それらの学修の経過・成果を作業日誌および報告書(レポート)にまとめる。					
④授業外学習	作業日誌および従事した内容(概要、仕事の特徴、問題点と解決案、感想)をまとめたレポートを作成する。					
⑤テキスト・参考書等	必要に応じて指示する。					
⑥成績評価方法	<p>インターンシップが終わった後、作業日誌および従事した内容(概要、仕事の特徴、問題点と解決案、感想)をまとめたレポートを提出する。このレポートに基づいて最終成績の評価を行う。成績は「合」または「否」の2段階で評価する。</p> <p>また単位数は、概ね以下の目安に従って認定する。</p> <p>認定単位数(目安):</p> <p>1単位:実習期間が5日以上9日以内の場合</p> <p>2単位:実習期間が10日以上の場合(ただし、5日以上2箇所までは、1+1単位として認定できる。)</p>					
⑦質問受付方法 (オフィスアワー等)	インダストリアルアート学科の教務委員にメールで連絡すること。					
⑧特記事項 (他の授業科目との 関連性)	<p>インターンシップの単位取得には、以下の条件を全て満たす必要がある。</p> <p>(1) インターンシップに従事する2週間前までに各学科の教務委員の承認を得て、必要書類を教務係に提出すること。</p> <p>(2) 一定の条件を満たすインターンシップのみが単位認定の対象となる。特に、インターンシップ先から日当(ただし旅費及び昼食費相当額は除く)が支給される場合は認定できないので留意すること。</p>					

## 2020 年度 学部教務委員一覧

所属	学部教務委員氏名
情報科学科	小野 順貴
電子情報システム工学科	柴田 泰邦
	中村 成志
機械システム工学科	坂元 尚哉
	長井 超慧
航空宇宙システム工学科・コース	稲澤 歩
インダストリアルアート学科・コース	藤原 敬介
知能機械システムコース	長井 超慧
情報通信システムコース	小町 守
経営システムデザインコース	山本 久志